

第1章 教育とは

1 教育の基本的背景	
(1) 人間らしさの本質	1
(2) 大脳生理学から見た人間らしさ	1
(3) ヒトは長い年月をかけた手厚い教育で育つ	2
(4) ヒトは、人と人との間の相互交渉で育つ	2
(5) 子どもは手を使うことが好き	3
(6) 手への働きかけ（事例に学ぶ）	3
(7) ヒトの成長の道筋について	4
2 学習の原則、「自発」	5
3 コミュニケーション（交信関係）について	6
(1) 肌の触れ合い	6
(2) ふれあいの教育とは	7
① 基本的欲求であること	7
② 直接的で敏速、効果的に伝わること	8
③ 人の気持ちがよく伝わる	8
④ スキンシップは自然に生まれる	8
(3) 生得的表出（発信）	9
(4) 身ぶりサインによる表出（発信）	9
① 身ぶりサインとは	9
② 身ぶりサインの指導	9
(5) 相互交渉のプロセス	10
① 課題を媒介とした相互交渉	10
② 相互交渉から得られるもの	11
③ 発信行動と受信行動	12
4 障害児の一般的行動特性	13
(1) 興味、関心が低く自己刺激に陥りやすい	13
(2) 感覚を統合的に使うことが難しい	13
(3) ことばの遅れについて	14
5 教育上の課題	14
(1) 移動、目と手の協応、ことばなど	14
(2) 教育の基本的姿勢	15
(3) 基礎教育のねらいと重点	15

第2章 教育の具体例

1 感覚・運動を呼び起こす	16
(1)口の周辺部位/、の働きかけ	17
(2)手や足を中心とした全身への働きかけ	17
2 身体を起こし、感覚・運動を呼び起こし、全身の感覚を開く	18
3 手を伸ばし、つかむ、放す	19
4 腕を伸ばし、叩く、押す、引っ張る	24
5 滑らせる	25
6 筒やリングを抜く、さす	26
7 ねじる	28
8 棒を抜く、さす	28
9 宝探し	31
10 形のスライド板	33
11 属性の弁別・分類	33
(1)大小の弁別	34
(2)色の弁別	43
(3)長短の弁別	46
(4)高低の弁別	50
(5)重さの弁別	51
(6)その他の弁別	51
(7)形の弁別	52
(8)形の分解と構成	57
(9)面図形の分解・構成	60
(10)はめ板による事物の弁別と分解・構成	61
(11)実物の弁別と分類	63

第3章 文字指導の基礎

1 文字指導の基本的原理	64
2 文字指導の原則	64
3 文字指導の具体例	65

第4章 数指導の基礎

1 量概念の基礎学習	81
2 数の操作学習	84

第5章 私の歩み

1 はじめに	104
2 恩師との出会い	104
3 教材教具の工夫	104
4 教育開眼	105
5 1日1つの教具を	106
6 点字指導	106
7 文字指導	106
8 数の指導	106
9 概念形成学習	106
10 財団法人重度重複教育研究所及び 教育庁学務部義務教育心身障害課就学相談室での研究	107
11 普通小学校から養護学校へ	107
12 ライフワークに取り組む	108
13 研究会の発足	108

第6章 教材教具について

1 教材教具のねらいと指導の重点	109
2 教材教具の役割	109
3 教材教具による学習を~する上での留意点	110
(1)ウォーミングアップ	111
(2)助走	111
(3)本番	111
4 作者の念願と教材教具	113
5 障害児教育に学ぶ	113
(1)一寸手前を観る	113
(2)あきらめず、あわてず、あせらずに	114
(3)油断大敵	114
(4)非不可能の可能性を信じること	114
6 学習とは体得すること	114
7 概念形成学習の基礎	115
8 おわりに	115

資料1 教材教具製作の手引き

資料2 用語の解説

資料3 参考文献

編集後記